

## 気象研究ノート第205号「ウィンドプロファイラー —電波で探る大気の流れ—」発刊のお知らせ

(気象研究ノート編集委員会)

‘誰が風を見たでしょう’で始まる詩をご存じの方も多いでしょう。見えない風を見たい、この願いを実現したのがウィンドプロファイラーで、上空数km～数10kmの風を自動的かつ連続的に観測できます。これまで日本には京都大学などが持っている「MUレーダー」等僅かな数しかありませんでしたが、2001年～2003年にかけて気象庁が全国に31台のネットワークを展開し、今では広くそのデータが利用できるようになってきました。

本書はウィンドプロファイラーの概要並びに関連する科学がまとめられており、研究者・技術者はもちろん気象や大気汚染を勉強している人にも大いに役立つでしょう。風はもちろん温度、乱流や降水など様々な観測にウィンドプロファイラーが役立つことに目を開かれるはず。編集、小林 隆久(気象研究所)、全230頁、3月12日発行。購申込は日本気象学会事務局宛。

### <目次>

- 巻頭言 (深尾昌一郎)
- はじめに (小林隆久)
- 第1章 ウィンドプロファイラー概論 (小林隆久)
- 第2章 ウィンドプロファイラーの原理と基礎 (小林隆久)
- 第3章 ウィンドプロファイラーの構成(足立アホロ)
- 第4章 ウィンドプロファイラーの観測方法 (笹岡雅宏, 足立アホロ, 橋口浩之)
- 第5章 各研究機関におけるウィンドプロファイラーの研究 (大野裕一, 橋口浩之, 足立アホロ, 笹岡雅宏)
- 第6章 ウィンドプロファイラーによる観測データの高度利用 (橋口浩之, 笹岡雅宏, 津田敏隆, 古本淳一, 小林隆久, 足立樹泰)
- 第7章 気象庁におけるウィンドプロファイラー観測業務 (石原正仁・加藤美雄・阿保敏広・小林健二・泉川安志)



### 第45回科学技術映像祭入選作品発表会

年間の優秀科学映像を決める科学技術映像祭の入選作品を一挙上映。最優秀作品(内閣総理大臣賞)はNHKが製作した『地震波が巨大構造物を襲う』に決まった。昨年、十勝沖地震で石油タンクを破壊した「長周期地震動」という、体に感じられないくらいのゆったりとした揺れが、今後都市を襲う巨大地震で、どのような影響を与えるのか、これまで盲点となってきた問題に光を当てた。他に、日本の研究者の知られざる世界的な業績や惑星研究への展望を紹介した『不思議な星地球』(国立天文台)、『ザリガニのふえ方』(三重

大学教育学部後藤研究室)など文部科学大臣賞14作品が決定している。

日 程：4月15(木)・16日(金)(入場無料)

会 場：科学技術館・サイエンスホール  
(千代田区北の丸公園2-1)

交 通：地下鉄竹橋駅・九段下駅徒歩7分

[問] 日本科学技術振興財団・振興部

Tel：03-3212-2454

URL：http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pro/s-m/index.htm